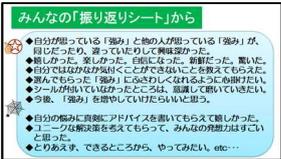


## 2 研究の実際 > (2) 授業の実際

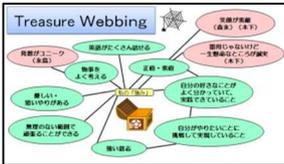
### Ⅰ 授業実践 (高等学校 第2学年 3時目)

- ◆本時のねらい：グループでの交流活動を通して、「強み」を生かしていこうとする意欲を高め、自分や友達の「強み」を知ったり、「強み」の生かし方を考えたりすることができるようにする。
- ◆本時のめあて：自分や友達の「強み」を生かしていこう。
- ◆授業前の取り扱い
  - ・前時までのワークシート等をファイルにまとめ、生徒に配付する。
  - ・グループを意図的に構成し、生徒の心理的な負担を減らすように配慮する。
- ◆本時の展開

学習活動と授業スライド	・生徒の様子や教師の気づき	○教師の働き掛け
<p>1 前時の活動を振り返る。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時と同じグループへの座席移動が和やかな雰囲気で行われた。</li> <li>・スライドを見ながら、返却したワークシート等と併せて、前時の学習内容を思い出している姿が見られた。</li> </ul>  <p>【前時の活動を振り返る様子】</p>	<p>○授業前に前時のワークシートと振り返りシートを返却し、前時の学習を通じた気づき等を思い出させることができるようにして、活動への意欲を高めるようにした。</p>
<p>2 本時のめあてを知る。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のめあてと学習内容を知り、活動に期待する様子が見られた。</li> </ul>	
<p>3 「Treasure Webbing ～『強み』の宝箱～」の活動を行う。</p> <p>交流活動（4人）</p> <p>(1) 1、2時目の活動で見付けた自分の「強み」を書き、関連した「強み」を線で結ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までのワークシートを見ながら、自分の「強み」を書くことができていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワークシートを配付した。</li> <li>○スライドを提示し、活動内容と方法を説明した。</li> <li>○1、2時目のワークシートにある自分の「強み」を「Treasure Webbing」のワークシートに書いた後に、関</li> </ul>



(2) 友達のワークシートに「強み」を書き加える。



4 「これがあれば大丈夫！」の活動を行う。

**交流活動（4人）**

(1) 今後、困ったり落ち込んだりしたとき、何かを成し遂げたいと思ったとき

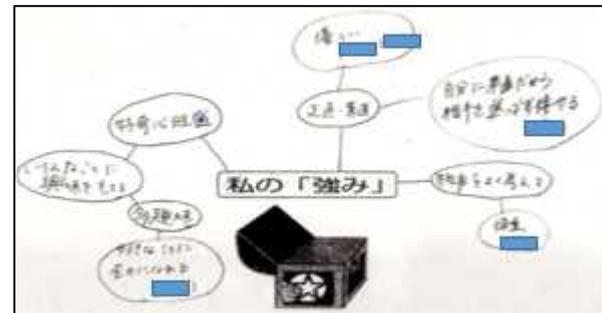


【「Treasure Webbing」に取り組む様子】

・友達が書いた「強み」を見ながら、自分なりに日頃感じている友達の「強み」を楽しそうに書き加えることができていた。



【「強み」を書き加える活動中の生徒の様子】



【Cさんの「Treasure Webbing」（私の「強み」）】

・友達に書き加えてもらった「強み」を読んで、笑顔や驚きの表情を見せながら、互いに「ありがとう」と声を掛け合う姿が見られた。

・「Treasure Webbing」のワークシートを見ながら、3つの「強み」とその理由を書くことができていた。  
 ・友達から「強み」を書き加えてもらったことに

連した「強み」は線で結ぶように指示した。  
 ○新たに気付いた「強み」を書き加えてもよいことを伝えた。

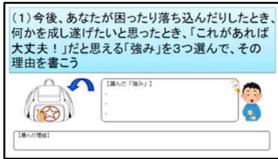
○「強み」を書き加えるときに自分の名前を書くことにより、友達を思いやる気持ちや活動への意欲を高めるようにした。

○友達に「強み」を書き加えてもらったワークシートに目を通す時間を設けた。

○スライドを提示し、活動内容と方法を説明した。

○「Treasure Webbing」を参考にして、自分が生かしたい「強み」を3つ書くように助言

に、これがあれば大丈夫だと思える「強み」を3つ選び、選んだ理由を書く。



(2) 選んだ「強み」と選んだ理由を伝え合う。

5 本時の活動を振り返る。

**交流活動（4人）**

(1) 振り返りシートに記述する。

より、友達に承認されているという安心や喜びを感じるとともに、今後生かしていきたい自分の「強み」への自覚を深めた記述が見られた。



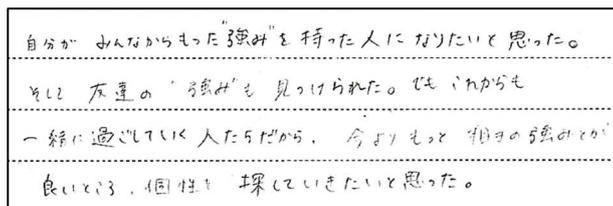
**【Cさんが記述した「Treasure Webbing」（選んだ「強み」と選んだ理由）】**

- ・友達の発表に関心を持ち、真剣に聴くことができていた。
- ・自分が選んだ「強み」と選んだ理由を笑顔で伝え合い、発表が終わると自然に拍手をする姿が見られた。



**【選んだ「強み」と選んだ理由を伝え合う活動の様子】**

- ・グループでの学習活動や交流活動を通して、自分とは異なる様々な価値観や考えに触れたことにより、自己理解や他者理解を深めるとともに、今後も自他の「強み」を見付け、生かしていこうとする意欲を高めた記述が見られた。



した。

○選んだ理由を書くことにより、自分の「強み」を生かしていこうとする意欲を高めるようにした。

○1時目に学習した「聴き方のポイント」を確認して、安心できる雰囲気の中で伝え合うことができるようにした。

○選んだ「強み」と選んだ理由を伝え合うことにより、自分や友達の「強み」を更に生かしていこうとする意欲を高めるようにした。

○振り返りシートを配付した。

○気付いたことや感じたことを記述してグループで伝え合うことにより、互いに自他のよさに気付くことができるようにした。

(2) グループで気づきを伝え合う。

6 3時間の学習活動を振り返る。



自分のいい所を言、と書かれても、あり出さなければ、この3回の授業で、自分の強みをたくさん見つけ、良い所もたくさん見つけたのと同じくらい活動ができたなと思います。見つけた強みをもっと強みにできるように、これからがんばって生活していきたいと思えます。

【生徒が記述した感想や気づき】

・「Treasure Webbing」や「これがあれば大丈夫！」をしたときの発見や気づき、互いに「強み」を伝え合った喜びや感謝の気持ちなどを、素直に伝え合う様子が見られた。



【気づきを伝え合う活動の様子】

・3時間の授業で使用したスライドや授業中の写真、振り返りシートの記述を使って振り返ることで、授業で学んだことを再確認することができた様子が見られた。

・3時間の学習で使用したワークシートや振り返りシートをファイルにとじ、「Strength Story ~あなたの『強み』に出会う物語~」というタイトルの「ストレングス・グッズ」として生徒に配付することを伝えると、興味深そうに話を聴く様子が見られた。



【話を聴く様子】

○スライドで3時間の学習活動の様子の写真や振り返りシートの記述を提示して、振り返ることができるようにした。

○これからも自分や友達「強み」を見つけ、互いに伝え合い、「強み」を生かしていきたいという意欲につなげるようにした。

◆授業後の取り扱い

- ・学級通信等で学習活動や生徒の感想を紹介しました。
- ・ワークシートや振り返りシートに、教師が気付いたことや感じたことを書きました。
- ・ワークシートと振り返りシートをファイルにとじて、生徒が学習を振り返ることができるようにしました。

## ◆本時の考察の視点

- ・本時のねらい「グループでの交流活動を通して、『強み』を生かしていこうとする意欲を高め、自分や友達の『強み』を知ったり、『強み』の生かし方を考えたりすることができるようにする」を達成することができたかを、振り返りシートの結果と記述から考察します。考察の視点は、以下のとおりです。

## 【① 学習に進んで参加することができたか】

振り返りシートの「学習に進んで参加することができましたか」の質問で、意欲的に自分や友達の「強み」を知ろうとしたり「強み」の生かし方を考えようとしたかを考察します。

## 【② 自分や友達の「強み」を伝え合うことができたか】

振り返りシートの「自分や友達の『強み』を伝え合うことができましたか」の質問で、自分や友達の「強み」を知ったり「強み」の生かし方を考えたりするために、自他の「強み」を伝え合うことができたかを考察します。

## 【③ 自分の「強み」を知ることができたか】

振り返りシートの「自分の『強み』を知ることができましたか」の質問で、自分の「強み」を知ることができたかを考察します。

## 【④ 友達の「強み」を知ることができたか】

振り返りシートの「友達の『強み』を知ることができましたか」の質問で、友達の「強み」を知ることができたかを考察します。

## 【⑤ 今後、自分の「強み」を生かしていこうと思ったか】

振り返りシートの「今後、自分の『強み』を生かしていこうと思いましたか」の質問で、「強み」を生かしていこうとする意欲を高め、自分の「強み」の生かし方を考えることができたかを考察します。

## ◆本時の考察（「振り返りシート」の結果と記述から）

## 【① 学習に進んで参加することができたか】

○振り返りシートの「学習に進んで参加することができましたか」の質問に対して、「できた」と回答した生徒の割合は90.7%、「だいたいできた」と回答した生徒の割合は9.3%でした（図1）。また、生徒の振り返りシートには、「自分の『強み』が何なのか、ということをグループの友達と一緒に改めて確認することができた」「他の人の発想は面白いし、自分では気付けないことばかりで、ためになった」という記述が多く見られました。これらのことから、生徒は「Treasure Webbing ～『強み』の宝箱～」や「これがあれば大丈夫！」の学習活動やグループでの交流活動に進んで参加し、意欲的に自分や友達の「強み」を知ろうとしたり「強み」の生かし方を考えようとしたと考えます。

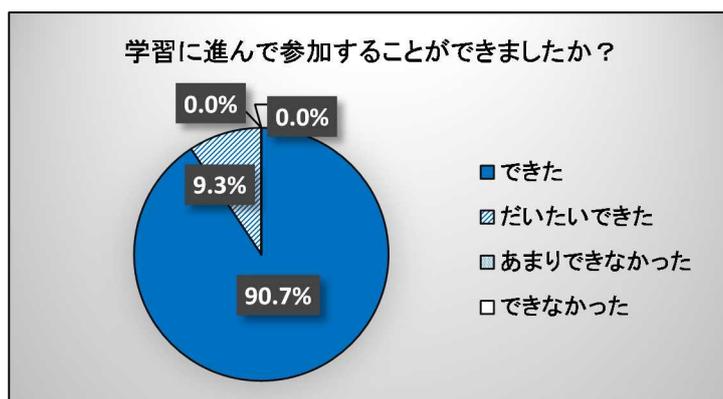


図1 学習に進んで参加することができたかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

## 【② 自分や友達の「強み」を伝え合うことができたか】

○振り返りシートの「自分や友達の『強み』を伝え合うことができたか」の質問に対して、「できた」と回答した生徒の割合は81.4%、「だいたいできた」と回答した生徒の割合は18.6%でした（図2）。また、生徒の振り返りシートには、「グループの友達に書いてもらうことによって、また違った『強み』を知ることができた」「前回の学習で見つけた自分の『強み』を、友達を通してもっと広い視野で深く知ることができた」「1時目よりも自分の『強み』も友達の『強み』もすんなり書くことができた。友達から書いてもらったことを読んで、いつも見てくれているんだと、とても嬉しかった」「自分の『強み』をプレゼントしてもらったので、それを磨いていきたい。これからも相手の『強み』を見付け、伝えることができるような人になっていきたい」という記述が見られました。これらのことから、生徒は「Treasure Webbing ～『強み』の宝箱～」や「これがあれば大丈夫！」の学習活動やグループでの交流活動を通して、自分や友達の「強み」を知ったり「強み」の生かし方を考えたりするために、自他の「強み」を伝え合うことができたと考えます。また、生徒は互いに伝え合うことの意義や効果を感じたことにより、これからも互いの「強み」を伝え合っていきたいという意欲を高めることができたと考えます。

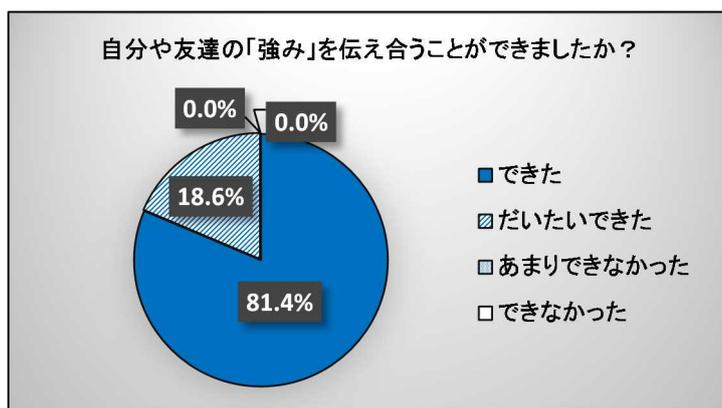


図2 自分や友達の「強み」を伝え合うことができたかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

## 【③ 自分の「強み」を知ることができたか】

○振り返りシートの「自分の『強み』を知ることができましたか」の質問に対して、「できた」と回答した生徒の割合は81.4%、「だいたいできた」と回答した生徒の割合は18.6%でした（図3）。また、生徒の振り返りシートには、「3回の学習を通して、自分の『強み』となるものが明確に分かった気がする。友達にたくさんの『強み』を見付けてもらえて、素直に嬉しかった」「『強み』の宝箱に、自分自身で書いたり、他の人に書いてもらったりすると、こんな私にもいろいろな『強み』があるんだということに気づき、本当に嬉しくなった」「今までは人の気持ちを考え過ぎて行動できないことが多く、ダメなところだと思っていたが、今日の活動で、それが自分の『強み』だと分かって、少し自信になった」「短所はすぐに思い付くけど長所はなかなか思い付かない自分にとって、今回の学習で自分では気付いていなかった『強み』を知ることができ、自信につながった」「最後に選んだ自分の『強み』は自分らしさでもあるから、いつもそうありたいと思う。やる気と自信がわいた」という記述が見られました。これらのことから、生徒は「Treasure Webbing ～『強み』の宝箱～」や「これがあれば大丈夫！」の学習活動やグループでの交流活動を通して、自分の「強み」を知ることができ、自信につなげることができたと考えます。

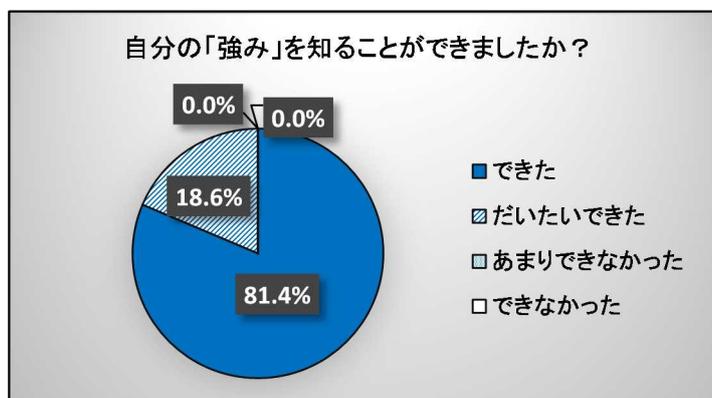


図3 自分の「強み」を知ることができたかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

## 【④ 友達の「強み」を知ることができたか】

○振り返りシートの「友達の『強み』を知ることができましたか」の質問に対して、「できた」と回答した生徒の割合は86.0%、「だいたいできた」と回答した生徒の割合は14.0%でした（図4）。また、生徒の振り返りシートには、「私があげた『強み』のプレゼントをそのまま『強み』として選んでくれた人が多かったのがとても嬉しかった」「これからも一緒に過ごしていく人達だから、今よりもっと友達の『強み』を探していきたい」「友達のことをよく知ろうと考えたから、今はもっと仲良くなれるような気持ちになった」という記述が見られました。これらのことから、生徒は「Treasure Webbing ～『強み』の宝箱～」や「これがあれば大丈夫！」の学習活動やグループでの交流活動を通して、友達の「強み」を知ることができ、これからも友達の「強み」を知りたいという意欲を高めることができたと考えます。

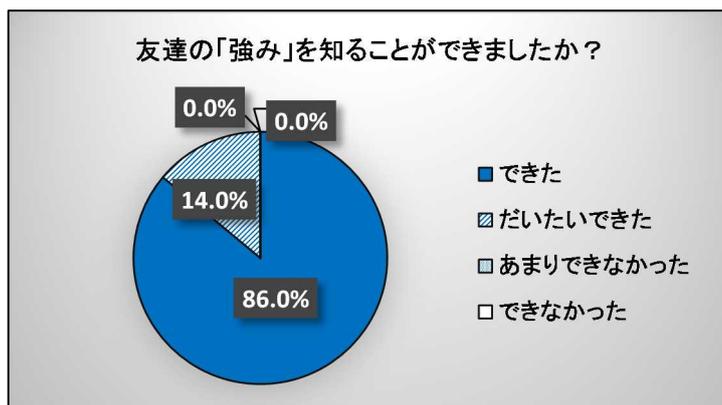


図4 友達の「強み」を知ることができたかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

## 【⑤ 今後、自分の「強み」を生かしていこうと思ったか】

○振り返りシートの「今後、自分の『強み』を生かしていこうと思いましたが」の質問に対して、「思った」と回答した生徒の割合は88.4%、「だいたい思った」と回答した生徒の割合は11.6%でした（図5）。また、生徒の振り返りシートには、「自分の『強み』をよく理解して考えることができれば、自分のためにも、人のためにも、生かせるようになるということが分かった」「これまでに気付いた自分の『強み』だけでなく、グループの友達からもらった『強み』も十分に生かしていくことができれば、どんなに苦しいことがあっても乗り越えていける、突破できると思った」「今日の学習で、自分の『強み』をどのように生かして難しいことをやり遂げていくかのイメージができた。自分の『強み』を更に伸ばすのはもちろんのこと、自分に足りないものや今後生活する上で必要だと思うことを身に付けたいと思った」という記述が見られました。これらのことから、生徒は「Treasure Webbing ～『強み』の宝箱～」や「これがあれば大丈夫！」の学習活動やグループでの交流活動を通して、自分の「強み」の生かし方を考えることができたと考えます。また、自分の「強み」の理解を深めたことにより、自分の「強み」の生かし方や今後の課題を具体的に考えることができ、これから自分の「強み」を生かしていこうという意欲を高めることができたと考えます。

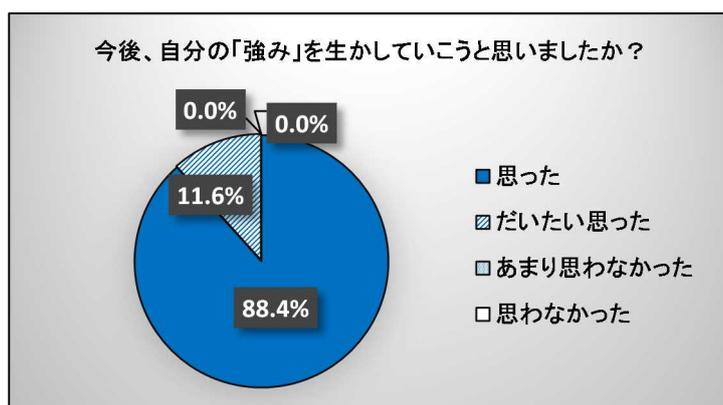


図5 今後、自分の「強み」を生かしていこうと思ったかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

以上の結果より、3時目の授業において、生徒は意欲的に授業に参加し、自分や友達の「強み」を知り、それを伝え合い、今後、自分の「強み」を生かしていこうと思ったことが分かりました。また、2時目で自分の「強み」を生かすことができると思うことにおいて、「思った」と回答した生徒の割合が60.5%であ

ったのに対して、3時目で自分の「強み」を生かしていこうと思うことにおいて、「思った」と回答した生徒の割合が88.4%と、約30%数値が高かったことが分かりました。その理由として、2時目では、生徒は自分の「強み」を生かすことができると思うのと同時にその難しさも感じていたものの、3時目では、これまでの活動で見付けたり友達から新たに付け加えられたりした自分の「強み」を整理して視覚化したことで、自分の「強み」に自信を持つことや、今後、生かしていこうという意欲につながったことが考えられます。

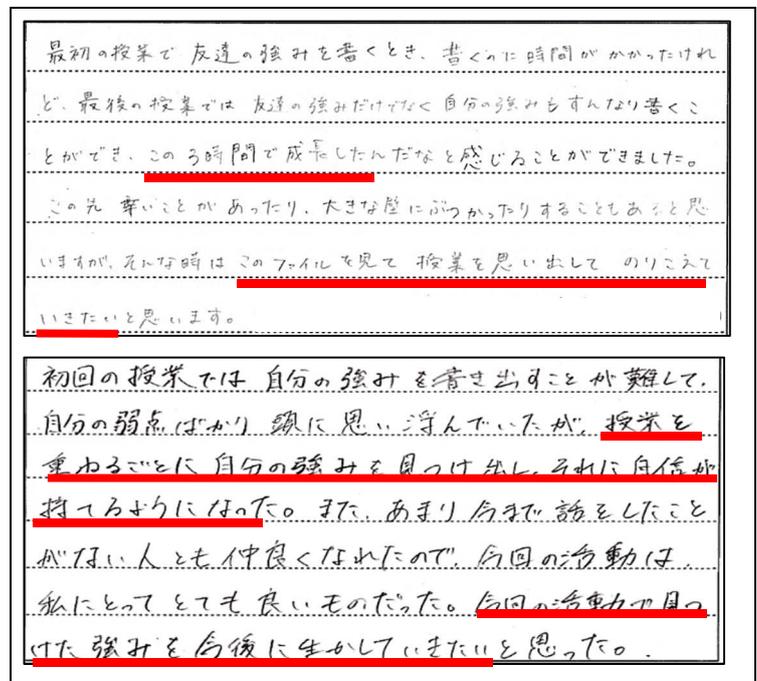
以上のことから、3時間の授業の全時で行った、直接的に自分の「強み」を見付けるのではなく、友達「強み」を見付けると同時に友達から「強み」を見付けてもらうという学習活動が、生徒が友達からの承認を得ることで自信を持ったことにつながり、自分や友達の「強み」を生かしていこうとする意欲を高めることに有効であったと考えます。

#### ◆授業後の取り扱いに関する考察（振り返りシートの生徒の記述と担任の感想から）

○これからも生徒が自分や友達の「強み」を見付け、互いに伝え合い、「強み」を生かしていきたいという意欲につなげるために、3時目の授業後に、「ストレングス・グッズ」（資料1）を配付しました。「ストレングス・グッズ」にとじた生徒の振り返りシートには、3時間の学習活動とグループでの交流活動を通じた自分の成長に関する記述や、今後「強み」を生かしていきたいという記述が見られました（資料2）。また、担任の感想として、「活動の中で、相手からの評価に対する喜びや好意、これからの自分の在り方など、極めて前向きに捉えている姿が印象的だった。3時間の授業を通して、肯定的な関係をより築くことができたと思う。今後、それぞれの目標に向けて、もっと支え合える、励まし合える『チーム』になる大きなきっかけになったと思う」とあり、生徒が持つ「強み」に着目した交流活動が生徒の自己肯定感を高め、互いに自他のよさを認め合う人間関係づくりに有効であることが分かりました。今後も、「ストレングス・グッズ」を継続的に活用することにより、生徒が実際の生活で「強み」を生かすことにつながると考えます。



資料1 生徒に配付した  
「ストレングス・グッズ」



資料2 生徒が記述した感想や気づき（振り返りシートより）